



NPO 法人ファミリーサポート 愛さん会ニュース!

2022.4.25 No.88

発行者

NPO法人ファミリーサポート愛さん会

新責任者 平良 博子

〒902-0075 那覇市上間590-4

地下アパート1F (098)851-7304

「愛さん会の炊出し」地域に浸透!

「ファミリーサポート愛さん会」では、昨年十二月から那覇市新都心公園で毎月第四土曜日に生活困窮者の皆様へ炊出し・食料・衣類やマスク等の配布を行っております。

今月も二十三日の土曜日に炊き出しを行いました。今月のメニューは、トン汁・おにぎりのゆで卵を提供しました。炊き出しはこれまで6回(12月1回、1月2回、2月1回、3月1回、4月1回)実施しており、この日を心待ちにしておられる方もおりました。事務局が案内表示板に次月の実施日を記載していることや、今や常連さんになっておられる方々の口コミで広がり、毎回人員がふえてきており事務局も嬉しい悲鳴をあげております。



4月24日、沖縄県の発表によりますと、新たに感染が確認されたのは1311人で、先週の日曜日比べてわずかに4人少なくなりました。まだまだ予断を許さない状況にあります。会員の皆様にはこれまで同様「3密」を避け、手洗いやマスク着用を心がけ、この難局を乗り切ってくださいませ。会員の皆様のご協力を賜りますようお願いいたします。

寝たきりゼロへの10か条!

一口メモ

生活リハビリテーションが重要です。暮らしの中でのリハビリテーションは食事と排泄、着替えから・・・。



胎児の命を繋ぐ「羊水」の巡り!

「羊水」は胎児の命を繋ぐ水です。子宮の中には、母体の血液(血漿)が染み出します。胎児は羊水の中で母体の衝撃から守られ、自由に手足を動かしており、その動きが胎児の筋肉や骨格の発達を促進します。羊水の容積は胎児の成長に合わせて増えていき、最大700~800mlになります。

〈胎児循環〉

胎児は、羊水を肺に取り込み呼吸運動の練習をしています。吸い込んだ羊水是尿として再び羊水中に排出され循環しています(酸素の取り込みや二酸化炭素の排出は臍帯を通じて母体に排出されるため羊水中には常にきれいな状態を保っています)。

また、分娩時には羊膜に包まれた羊水が子宮口を押し広げ、陣痛の圧力から胎児を守ってくれる働きがあるほか、破水することによって産道を滑らかにしてくれています。このように、羊水は胎児を守り、出産を支える命の水なのです。